

ネットオークション

ネットオークションとは

ネットオークションとは、電子商取引(EC=イーコマース)の一種で、インターネット上で画像や文字データのやりとりを通じて行う競売(オークション)である。「オンラインオークション」や「インターネットオークション」とも呼ばれている。

フリーマーケットのように使わなくなったものを必要としている人に売ることができ、パソコンや携帯電話があれば誰でも参加できるので、インターネットの普及と共に利用者が増加している。

また、現在では企業が販売活動の手段としてネットオークションを利用する例も少なくない。

商品を販売したい場合は、オークションサイト上に、出品する商品の名前や写真、新品か中古かなど商品の状態、最低価格、入札期限、配送方法、支払方法などの情報を掲載する。入札者は、検索などを行って必要としている商品を探し出し、希望の商品が見つかりと入札の条件を確認して入札する。期限内に最も高値を提示した者が商品を落札し、出品者と電子メールなどを使って連絡を取り合い、商品と代金を交換することになる。

ネットオークションの問題点

詐欺

ネットオークションは電子情報のやりとりだけで取引を行うので、購入する商品や相手を直接確かめることができない。

そのため、実際に送られてきた商品が希望していたものと違っていたり、商品が送られてこなかったり、逆に出品物を詐取されてしまうなど、詐欺の被害にあうことがある。

個人情報の漏洩

オークションに参加すると、取引相手に個人情報(→p.31)を開示する必要があるため、個人情報が漏洩し、それらを悪用されるおそれがある。

例えば、取引が不調に終わった際に、オークションの取引相手が匿名掲示板に個人情報を暴露したり

誹謗中傷したりすることが起こることもある。

違法出品

ネットオークションは誰でも出品できるので、違法な商品が取引される場合がある。

例えば、コピーソフトや海賊版のビデオ・DVD、偽ブランド品やコピー商品、拳銃や刀剣類、麻薬・覚せい剤・シンナー・トルエンなどの違法薬物、無修正の裏ビデオや児童ポルノなどの猥褻物などがやりとりされることがある。

また、盗品が出品されている場合もある。中古品を個人が出品する場合、盗品などかどうか見分けるのが難しいので、盗品とは気づかずに入札して購入してしまうことも起こってしまう。

転売行為

イベント・施設等の入場券、鉄道の乗車券など市場で品薄の商品などに対し、初めから転売目的で買い占め、オークションで定価以上の高額を付けて出品するダブ屋行為もネットオークションではたびたび行われている。

ネットオークション詐欺にあわないために

オークション詐欺にあわないためには、まず信用できるかどうか取引相手をよく確かめることが必要である。

知らされた住所や電話が実在するか確かめたり、オークションの評価を見て、過去にトラブルがなかったか、あるいは相手にオークションの経験がどれくらいあるかなどを確認したりすることが大切である。

取引の際に、売り手と買い手の間に信頼の置ける中立な第三者を仲介させて金銭または物品の取引をするエスクローサービスなどを利用するのも1つの方法である。